

今月の人

## 津波は「てんでこ」

建築住宅課総括課長 澤口 政登志



私の故郷の名前が平成17年6月5日をもって地図から消えてしまった。田老町は新しい宮古市の一部として宮古市田老になった。田老町で育った者としては淋しい限りであるが、宮古市の一部になつても「防災田老」の意識は持ち続けて欲しいと願っている。

私が小学生の頃は、田老町の3月3日は雛祭りではなく「津波の日」であった。全校児童が講堂に集まり、津波を経験した父母が津波の体験を話した。その後、全校児童で「津波の歌」を合唱した。本当の題名は判らないが、我々は「津波の歌」と言っていた。歌の出だしは、♪大津波 くぐりてめげぬ こころ持て・・・♪と記憶しているが、なにしろ50年近く前のことでは正確ではない。その後、教室で授業をして、何時間目かに津波の避難訓練を行なった。全員が教室から出て、人数を確認した後に山に向かって歩き、安全なところまで行って訓練終了となつた。

その時の父母の話で、津波が来たら「てんでこに逃げろ」ということが頭に残っている。「てんでこ」と言うのは、「てんでんばらばら」にということである。つきつめて言えば、自分の身を守ることだけを考えて、自分で逃げろということである。

昭和8年の津波は朝方だったため、着替えたり子供に着替えさせたりしているうちに津波が来て一家全員が亡くなってしまった家もあると聞いた。また、逃げる途中で弟、妹がいないことに気付いて家に戻ったために兄弟全部が亡くなつた例もあると聞いた。

津波のように地域全体が被害を受けるような災害では、着の身着のままで、いち早く逃げることが重要で、着替えとか避難準備をしていて、準備の遅い子供とか老人のために一家全滅は避けなければという意識がこの言葉になったものと思われる。

自分がこの仕事をするようになって、防災意識の向上とか防災避難を考えるときに、「津波はてんでこ」という言葉を思い出している。一人一人が、日頃から災害に対応する心構えを持って、自己責任で危険を回避することが重要で、「防災は個人の意識の問題だよ」と教えられているような気がする。また、一刻も早い避難が重要であるとか、避難に当たつてばらばらに逃げる事によるリスクの分散とか、危機管理とか含蓄のある言葉であるような気がする。

この話は、防災について教育を受けたこともなく、津波という大災害を経験した田老町の一町民が自らの経験で話したことである。防災に関する心構えを見事に言い表した言葉だと思っている。

### 8月 主要行事

#### 歴史の道シリーズ第9弾「先人たちの足跡をたどる」

- 期日 8月7日(日)
- 時間 9時~14時
- 場所 一戸町
- 担当 二戸地方振興局土木部

#### 自然と共生する新しい時代の公共事業

- 期日 8月9日(火)
- 時間 14時~16時
- 場所 エスポワールいわて
- 担当 県土整備企画室

#### 県道薄衣舞川線中谷起工区開通祝賀会

- 期日 8月9日(火)
- 時間 18時~19時
- 場所 舞川公民館
- 担当 一関地方振興局土木部

#### 景観法説明会

- 期日 8月10日(水)
- 時間 13時~17時
- 場所 エスポワールいわて
- 担当 都市計画課

#### 「ダム湖百選」認定碑除幕式

- 期日 8月10日(水)
- 時間 11時~12時
- 場所 御所湖広域公園手つなぎ広場
- 担当 盛岡地方振興局土木部

#### 第5回黄金ロードふれあい作戦

- 期日 8月10日(水)
- 時間 9時~12時
- 場所 管内
- 担当 一関地方振興局土木部

#### 仙人峠の集い

- 期日 8月10日(水)
- 時間 9時~15時
- 場所 仙人峠
- 担当 釜石地方振興局土木部

#### 道の日記念行事

- 期日 8月10日(水)
- 時間 8時30分~15時
- 場所 大船渡市日頃市町 鷹生ダム
- 担当 大船渡地方振興局土木部

#### 西和賀地域の自然環境セミナー

- 期日 8月11日(木)
- 時間 10時~16時
- 場所 現地調査箇所沢内バーデン
- 担当 北上地方振興局土木部

#### 歴史の道・白木峠散策会

- 期日 8月19日(金)
- 時間 10時~14時
- 場所 湯田町~秋田県山内村
- 担当 北上地方振興局土木部

#### 主要地方道花泉藤沢線涌津~老松地区開通式

- 期日 8月27日(土)
- 時間 11時~12時
- 場所 花泉町新老松橋
- 担当 一関地方振興局土木部